

発行/三原市人権推進課
編集/三原市大和人権文化センター
住所/三原市大和町下徳良107番地1
電話/0847-33-1308

三原市大和人権文化センターだより

プロフェッショナル啓発の流儀

～実践で生かせる手法を学ぶ～

この研修会に参加しました。

わたしたち一人ひとりがいきいきと安心して生活し、職場などで能力を最大限に発揮していくために欠かせないものが「自分を大切に、他の人も大切にする」という人権尊重の視点です。

演題 「あるコピーライターの伝え方 ～言葉の先にある想いを伝える～」

内容 コピーライターの視点から学ぶ人権啓発の手法 / 相手の心に「響く」・「伝わる」言葉の使い方 / 人権啓発を行う上での心得など

講師 クリエーティブディレクター・コピーライター 玉山 貴康 さん

在日韓国人の3世で神戸に生まれ小さい頃から、いじめ、差別を受ける中、1通の脅迫状により差別に対しての怒りを覚え自暴自得になってしまった。

しかし、卓球部の顧問の先生の言葉から、差別を見返すように何事にも頑張るよう促され、卓球に打ち込みソウル五輪の日本強化選手までのぼりつめた。その後、電通に入社し人権啓発を行うようになった。

本題

言葉を見て何かを思いだすか? 例 夏＝暑い・蝉・海水浴・砂浜 母＝優しい・味噌汁・弁当・母乳
言葉とは、人間の記憶の集合体、言葉の正体実はそれらの情報である。

○ コピーライターとは、その言葉の先にある情報性、言葉の力を信じて世界を変えようとする仕事。

○ コピーとは、読んだ人がどう思うか、その読後感そのものがコピーです。

文字がコピーではない。心に残ったものがコピーです。

「人権スローガン：さまざまな人権問題・部落差別の啓発」

○ 子どもの人権 (児童虐待防止)

① 「道で転んだ」と親をかばう子どもがいます。・・・言葉の先には、虐待する親が想像できる。

② 忘れられない思い出がどうかよいことでありますように・祈り(愛情)を受けている受けていない子どもの差

○ 在日外国人差別問題に対する人権啓発

① 国籍って「打ち明ける」ものなんだろうか・・・言葉の先には、見方時点で差別している。

☆ コピーから学んだこと

思いやりは自分が相手にこう言えば、相手はこう思うだろうという事前把握である。

所見：言葉には、ひとつだけの意味でなく、その先に見方を変えればいろんな要素を含んでいる。

人に何かを伝えようとする時、伝える相手を思いやるのが大切だと感じました。

※ 講演は、パワーポイントで資料はありませんでした。その中で上手く表現できませんが、私の感じた部分を掲載しました。

大和地域センター心配ごと相談のお知らせ

日時 11月20日(金) 9:00~12:00

場所 大和人権文化センター 会議室

相談内容 くらしの相談・行政相談

相談員2名で対応します。次回は、12月18日(金)の予定。

電話による相談も受け付けています。

大和人権文化センター(0847-33-1308)

人権相談

人権侵害や差別などでお悩みの方は、人権相談員にご相談ください。

相談は無料で秘密は守られますので、気軽に相談してください。

●とき 土・日・祝日は除く
10:00~16:00

●ところ 三原市大和人権文化センター

●電話 0847-33-1308

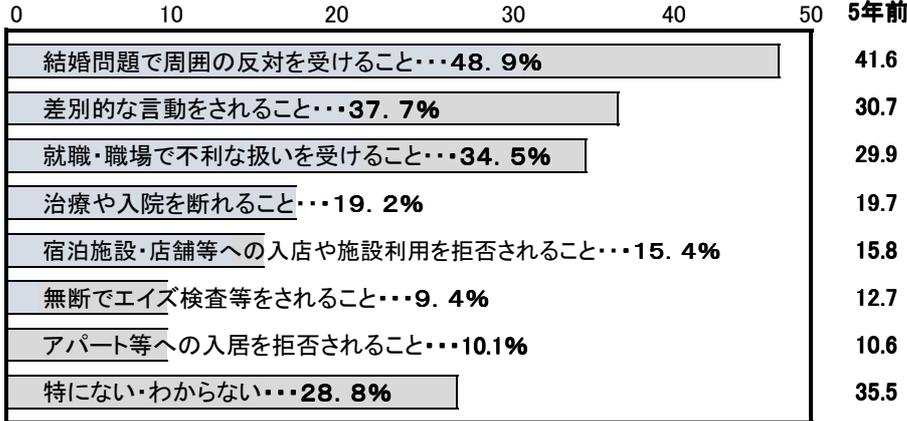
人権ってなんだろう？ NO. 11



HIV感染者及びエイズ患者に対しては、病気について不正確な知識や思い込みによる差別意識から、医療の拒否、就職や入学の拒否、解雇など様々な人権問題が生じています。

こうした偏見をなくすため、病気についての正しい知識の普及や、患者等の立場に立って考えることが大切です。

●エイズ患者・HIV感染者やその家族に関し、現在どのような人権問題が起きていると思いますか？



複数回答

資料：内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成29(2017)年10月)



5年前と比較すると結婚問題での反対や差別的な言動をされるが増加傾向しており、病気についての正しい知識や、患者等の立場に立って考えることの啓発が必要です。

●HIVとエイズは同じもの？

HIVはエイズの原因となるウィルスで、エイズはHIVに感染して発症する病気の総称です。

HIVウィルスが体内で増殖し、身体の免疫力が低下することによって発症するのがエイズ(後天性免疫不全症候群)です。

- ① Acquired 後天性 生まれつきでなく
- ② Immune 免疫 ウィルスや細菌からからだを守る力
- ③ Deficiency 不全 うまく働かなくなつて
- ④ Syndrome 症候群 様々な症状が現れる

「後天性免疫不全症候群」の頭文字をとって **AIDS (エイズ)** といいます。

●HIVはどうやって感染するのでしょうか？

HIVの感染経路は3つです。現在、国内では「性的接触」による感染が最大の原因となっています。

- 性的接触 → 感染者の精液や膣分泌液に含まれるHIVが性器等の粘膜から体内に入ること
- 血液感染 → 麻薬等の静脈注射の回し打ち等で感染者の血液が体内に入り感染
- 母子感染 → 感染している母親から妊娠・出産・授乳を通して赤ちゃんに感染

●こんなことでは、感染しません。

性的接触以外の日常生活では、まず、心配ありません。

- ・握手や軽いキス
- ・同じ皿から料理を食べる、飲み物の回しのみ
- ・咳、くしゃみ、汗、涙
- ・風呂やプール
- ・洋式トイレの便座、つり革や手すり
- ・日本の医療機関、理髪店、美容院

※ 血液のつきやすい歯ブラシ、カミソリ、ピアスなどは自分専用の物を使いましょう。

私たちに出来ること
 家族や友人など、周囲の人たちに感染前と同様に接してもらうこと、理解してサポートしてもらうことが、HIV感染者やエイズ患者にとって、何よりも心の支えとなります。
 そのためには、HIVに感染してもエイズを発症していなければ、ほぼ今まで通りの生活が出来ること、職場や学校での日常的な活動では、感染することがないことなど、正しい理解と認識を持つことが必要です。
 HIVやその他ウィルスに感染した人が、安心して病気と向き合える社会にしていきましょう。



参考資料(抜粋)「気づき」から「きずな」へ。
 (広島県人権男女共同参画課・人権啓発冊子)平成29(2017)年3月発行)

※ 次回に続く